



2010年3月

【発行】

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

〒020-0180

岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F

TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491

e-mail : sn.iunicef_iwate@todock.jp

ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

ハイチ地震緊急

子どもたちの健康と安全を守るための支援

復興支援募金



©UNICEF/NYHQ2010-0024/LeMoyno

▲首都ポルトープランスの空港近くで開かれた野戦病院にて、地震で骨盤を骨折し保護者のいない子ども(1月17日)。



©UNICEF/NYHQ2010-0015a/LeMoyno

▲首都ポルトープランスにて、地震で瓦礫と化したビルを掘り、親族を探す男性。(1月16日)

▲ジャクメルサッカー場に設置された避難キャンプで、ユニセフのスタッフが、他人道支援団体と共に支援物資を提供しているところ

© UNICEF/NYHQ2010-0082/LeMoyno



▲1月26日 いわて生協ベルパ牧野林ハイチ緊急募金を呼びかけるボランティアさん



▲2月12日 滝沢村立滝沢中学校生徒会からハイチ地震緊急復興支援募金が届けられました。

2010年1月12日(日本時間13日)、中米の最貧国ハイチで発生したマグニチュード7.0の大地震による死者30万人、被災者は300万人以上、ハイチの約1000万人の人口の半分近くは18歳未満の子どもたちです。ユニセフは、地震発生直後から緊急支援物資の配布などの支援活動に取り組んでいます。災害の直後は、子どもたちは下痢性疾患への影響を受けやすく50万人に予防接種、安全な水と適切な衛生施設(トイレ)の確保、親や親族を亡くした子どもたちの保護を最優先にすすめています。

ハイチの子どもたちは今、切実に支援を必要としています。被災地の子どもたちのためにハイチ大地震 緊急・復興支援募金にみなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

ハイチ地震緊急・復興支援募金を受け付けております

《郵便局(ゆうちょ銀行)振替口座》

00190-5-31000

《口座名義》 財団法人日本ユニセフ協会

◆通信欄に

「ハイチ K1-030 岩手県支部」と明記願います。

◆送金手数料は免除されます。

◆当協会への募金は寄付金控除の対象となります。

※県内では、岩手日報社本社・支社で緊急募金を受け付けています。

2009 ユニセフ ハンド・イン・ハンド 報告

中・高・大学生
523人の
ボランティア参加
22会場で70万7233円の募金協力



▲若い親子づれやお子さんたちもすすんで募金してくれました。



▲クロステラス盛岡前



▲カワトク前で



▲イオンモール盛岡にて

一度も誕生日を
迎えられない小さな命、
年間約600万人のために!!

いま世界で5歳の誕生日を迎えることなく亡くなる子どもは年間880万人。その約7割は、一度も誕生日を祝ってもらえずに失われていく小さな命です。今年のハンド・イン・ハンドは、守られるべき小さな命のために、そしてすべての子どもたちの健やかな成長のためにみんなの“手と手をつなぐ”キャンペーンとして展開しました。

県内では、
647人(子ども523人)
のボランティアが
参加しました!

22カ所所で実施され、子どもたちの参加が多く、当日集まった募金額は707,233円となりました。みなさまのあたたかいご支援ありがとうございました。

日本とユニセフの協力

● 60周年



この日本もユニセフから助けられていた時代があったことをご存知ですか?

今や経済大国に成長した日本へも第二次世界大戦後、ユニセフからの支援が届けられていたのです。日本でユニセフからの支援が始まった1949年から60年が経ちました。

戦後の子どもたちの成長に大きな貢献

ユニセフ募金の原点は学校募金

日本とユニセフの60年

1946	第1回国連総会でUNICEF(国連国際児童緊急基金)創設
1949	日本へのユニセフ支援開始
1953	新名称「国際連合児童基金」に改名し、恒久機関となる
1955	日本の全国七百町村の母子衛生組織にユニセフ・ミルクが贈られる 財団法人日本ユニセフ協会設立
1956	「世界子どもの日」をきっかけに、第1回ユニセフ協力募金が始まる
1959	伊勢湾台風で被災した母子にユニセフから毛布四万枚が届けられる
1964	日本へのユニセフ支援終了

1965	ユニセフがノーベル平和賞を受賞
1979	国際児童年 ユニセフ学校募金が一億円を突破
1989	「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」国連総会にて採択
1994	「子どもの権利条約」が日本で批准される
2000	国連ミレニアムサミットで2015年達成を目標にしたミレニアム開発目標(MDGs)を採択
2002	国連子ども特別総会開催
2006	ユニセフ創設60周年
2009	日本とユニセフのパートナーシップ60周年

岩手県立大学社会福祉学部「社会福祉国際比較論」 でユニセフ出前講座

～子どもとジェンダー問題をテーマ。日本とユニセフの協力60年史も～

2009年11月16日の授業は「困難な状況にある子ども・ジェンダーの問題」をテーマに、日本ユニセフ協会岩手県支部のボランティア3名が参加し、「日本とユニセフの協力の60年」や「子どもとジェンダー問題」、「日本とユニセフのパートナーシップの現状」、「国別の5歳未満児の死亡率」「途上国における女の子の仕事」などを説明しました。学生たちからは「ユニセフの具体的な活動を知り、自分が何をすべきなのかを色々考えるいい機会になりました」などの感想が寄せられました。



金ケ崎町国際交流協会国際理解講座でユニセフ 出前講座 ～金ケ崎町立永岡小学校～

金ケ崎町国際交流協会は、町内の全小中学校をめぐり、国際理解出前講座を実施しています。2009年11月11日、永岡小学校(岩手県胆沢郡金ケ崎町)で3～4年生を対象に行われた国際理解講座に、日本ユニセフ協会岩手県支部のボランティアスタッフ(盛岡4名・花巻3名)が参加しました。



大船渡市立 吉浜中学校生徒会が 文化祭で ユニセフコーナー

11月1日、ユニセフ活動の発表と募金の呼びかけを行いました。



盛岡市内の二つの中学校(玉山中学校・附属中学校) 「生き方講座」でユニセフを学ぶ



▲盛岡市立玉山中学校 12月2日
「自己の生き方」社会との関わりでユニセフの学習発表



▲岩手大学教育学部附属中学校 11月17日
「自分自身を見つめる」、「わたしの夢(将来なりたい職業)」世界の子どもたちとユニセフの活動を学ぶ

ユニセフ募金報告

(2009.4～2010.2)

9,624,022円

【個人】

- | | | |
|--------|--------|---------|
| ●松本 勝生 | ●川島 京子 | ●高橋 咲子 |
| ●林 正文 | ●川島 晃 | ●細野 正秋 |
| ●高橋 誠子 | ●中軽米 伸 | ●小田島 二郎 |
| ●内澤 祥子 | ●渡邊 勉 | ●吉田 ヒデ |
| ●勝又 弘子 | ●大橋 智子 | ●鈴木 昭一 |
| ●鈴木 彰子 | ●湊 早織 | ●高橋 謙治 |
| ●高橋 愛子 | ●渡辺 徳司 | ●佐々木 啓之 |
| ●守谷 祐志 | ●柴石 正男 | ●小松 敬一 |
| ●藤澤 啓一 | ●佐藤 悦郎 | ●高橋 謙治 |
| ●岩崎 賢江 | ●中村 紀子 | ●西田 寿美子 |

【学校】

- 盛岡市立玉山小学校
- 盛岡市立城内小学校
- 盛岡市立太田東小学校
- 盛岡市立手代森小学校
- 盛岡市立生田小学校
- 盛岡市立大新小学校
- 矢巾町立矢巾北中学校
- 滝沢村立滝沢小学校
- 滝沢村立滝沢中学校
- 紫波町立星山小学校
- 紫波町立古館小学校
- 花巻市立太田小学校
- 花巻市立矢沢小学校
- 花巻市立桜台小学校
- はなまきUC
- 大船渡市立吉浜中学校
- 県立釜石祥雲支援学校
- 県立花巻北高校
- (私)曉の星幼稚園
- 岩手県立学校選考教員・副校長会

【団体他】

- 盛岡レオクラブ
- 二戸市福岡十区婦人会
- 青山婦人の会 姉齒和子
- セリオ緑ヶ丘
- 立正佼成会花巻教会
- 第6回いわて女性洋上セミナー六洋会
- 盛岡医療生活協同組合
- みやこ映画生活協同組合
- 医療栄会ゆかりのゆかりスポーツクラブ
- 花巻寺町文化村協議会
- 盛岡大学生協学生委員会
- 花巻温泉 (住松園、ホテル千秋園、ホテル花巻、ホテル紅葉館)
- 株岩手県空港ターミナルビル
- 北星館
- 株赤沼商店
- カマダ生花店
- マルイシ商店
- 有杉善商店
- 株宮沢商店
- ホテルグランシェール花巻店
- 岩手県学校生活協同組合
- いわて生活協同組合
- 日本ユニセフ協会岩手県支部
- 花巻友の会
- 日本ユニセフ協会岩手県支部

岩手県支部にお寄せいただいた募金です。払込用紙の通信欄に岩手県支部コードK1-030と記入されたもので送金いただいた方々です。

(敬称略・順不同)

募 金 贈 呈 ★★★★★



▲1月23日 盛岡レオクラブから
カレンダー募金の益金



▲1月18日 盛岡大学生協・学生
委員会学園祭での益金



▲2月16日 紫波町立星山小学校 ユニセフ募金活動報告と募金贈呈



ユニセフ募金活動 花巻北高等学校 2年 小川 晴香さん

桜雲祭の活動では、各自の家から持ち寄った品物を販売しその売り上げを全てユニセフ募金にしました。桜雲祭でこのようなチャリティ活動を行うのは初めてということで、クラスでアイデアを出し合い、ポスターやパンフレットを展示したりしました。

当日は、24時間テレビにも負けない盛り上がりになりました。私も身も今までのような活動はしたことがありませんでしたが、さまざまな方々の協力に出会い、人の心の温かさを知り感動しました。「一人で見る事は、夢ではないが、みんなで見る事は現実だ」とオノヨーコさんが語っています。ひとりひとりの温かい心の集まりが、世界の恵まれない子に笑顔をもたらす活動。これからも活動に関わって生きたいと思っています。

(花巻友の会ニュースから)

unicef Information

第9回 いわてユニセフのつどい

～ユニセフ活動交流と映画「子供の情景」～

日本ユニセフ協会岩手県支部ができて10年、2001年設立当時世界の5歳未満児の死亡は年間1100万人、現在880万人とこの間世界の子どものいのちが大きく守られてきました。しかし、紛争や自然災害に多くの子どもたちが心に深い傷を負っています。ユニセフ支援の活動を交流し、世界の子どもたちのために私たちができることをみんなで考えていきませんか。

日時 2010年3月22日(月・祝)

10:30～12:30

会場 盛岡市 プラザおでって

3Fホール

内容 ・2009年度の活動交流 …ユニセフ紙芝居など
・映画「子供の情景」

小さいお子様づれの方は、親子室をご利用ください。



映画「子供の情景」

20年以上も続いた戦争の傷跡の中、アフガニスタンパルミヤンの6歳の少女、「学校に行きたい」少女の小さな冒険を寓話的に表現した映画、大人が子供に与える影響の重大さを訴えかける。



ユニセフカード&ギフト

代金の半分はユニセフ募金

ユニセフのカードとギフトで世界の子どもたちに未来をユニセフのカードやギフトはすべて、定価の約50%が現地活動資金として世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立てられています。お祝いに、また、日頃お世話になっている方へのご挨拶に、ぜひこのカタログからユニセフのカードとギフトをお選びください。

県支部にもありますのでお気軽にお立ち寄りください。



ユニセフ支援ギフト

途上国の子どもたちにユニセフの支援物資をプレゼントしませんか？ワクチン、箱の中の学校、蚊帳などの支援物資をご指定してお求めいただくと、ユニセフがあなたに代わって子どもたちにお贈りします。



あなたもユニセフサポーターに

会員になってご支援ください

(財)日本ユニセフ協会岩手県支部では会員を募集しています。

Q 会員ってなあに？

A ユニセフ協力を広げるさまざまな活動を行う日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にして下さい。

Q 会員の種類と会費、会員期間は？

A 3種類の会員があります。
①一般会員…個人ならどなたでもお申し込みができます。1口5,000円です。
②学生会員…18歳以上の学生が対象です。1口2,000円です。
③団体会員…団体、法人、企業などが対象です。1口100,000円です。
団体会員のみ、毎年4月～翌年3月(事業年度)が会員期間です。
※18歳未満の方は「ユニセフ子どもネット」にご参加下さい。お問合せ、お申し込みは岩手県支部まで。

岩手県支部のボランティアになりませんか？

詳しくは岩手県支部までお気軽にお問い合わせください

岩手県支部ではボランティアを募集しています。「まずはユニセフのことを知っていただく」ことから始まるのですが、みなさんのお力をほんの少しだけユニセフや世界の子どもたちのためににお貸しください。

- 運営ボランティア…出前講座・募金活動など県支部の活動について計画を立てたり、ボランティアの中心となって活動しています。
- イベントの手伝い…県支部としてさまざまなイベントでユニセフカードなどの頒布

その他お気軽に県支部へお問い合わせください。ボランティア参加に際しては年令、経験はまは問いません。みなさんのご参加をお待ちします。

あ と が き

- 2009年度も多くの子どもたちとユニセフの活動を学びました。2月お邪魔した吉浜中学校の平和雅先生が「ユニセフ・インドスタディツアー」の報告をし、ユニセフ「支援」から「感謝」に変わったといい、うなずくことしきり。
- 岩手県支部事務所の学区内にある滝沢中学校生徒会では、ハイチ地震緊急・復興支援募金に2月1日～5日全校で取り組み、直接手渡したいと来訪、インターネットで多くの情報を収集し、行動されたことに感謝いたします。(藤原)

き り と り

ユニセフ活動 参加申込書

事務局使用欄

受付日

参加希望に <input type="checkbox"/> をつけて下さい <input type="checkbox"/> ユニセフのつどい <input type="checkbox"/> ユニセフ会員申込書 <input type="checkbox"/> ユニセフボランティア申し込み	(フリガナ) お名前	団体・学校名
	住所 〒□□□-□□□□	電話番号 () FAX番号 ()

お申し込みは

(財)日本ユニセフ協会
岩手県支部

TEL 019-687-4460
FAX 019-687-4491

〒020-0180
岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
(いわて生協本部2階)